

当院における心筋梗塞後心室中隔穿孔に対する VA-ECMO+IABP ブリッジ戦略の有用性と限界に関する 後方視的症例シリーズ研究

1、研究の対象

2025年2月1日から2026年2月1日までの期間に、当院で外科的修復を施行した心筋梗塞後心室中隔穿孔（VSP）の患者様を対象とします。

2、研究目的・方法

研究目的

心筋梗塞後心室中隔穿孔（VSP）は重篤な合併症であり、外科的修復が唯一の根治療法です。本研究では、当院で手術を施行した連続症例について、術前の補助循環（VA-ECMO、IABP）の使用状況、血行動態の推移、術後経過を解析し、治療戦略の有用性および限界を検討します。今後の治療方針の最適化に役立てることを目的としています。

研究方法

診療録（カルテ）情報を用いた後ろ向き観察研究です。新たな検査や治療は行いません。

研究期間

臨床研究倫理審査委員会承認日（病院長許可日）～2027年3月31日

3、研究に用いる試料・情報の種類

- ・年齢、性別
- ・診断日、手術日
- ・血圧、乳酸値、循環作動薬使用量
- ・補助循環（ECMO、IABP）の使用状況
- ・心エコー所見
- ・術後経過および転帰

※本研究では試料（血液など）の使用はありません。

4、個人情報の取り扱い

研究では氏名や診療録 ID など個人を特定できる情報は使用せず、匿名化したデータを用います。研究成果を公表する際も、個人が特定されることはありません。

情報の管理責任者：浦添総合病院 診療部 救急集中治療部 研究責任者 菅井 七海

5、お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、すでに学会や論文等で公表されている場合は撤回が困難であることはどうぞご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：浦添市前田 1-56-1 電話：098-878-0231（代表）

浦添総合病院

研究責任者：診療部 救急集中治療部 菅井 七海